



太鼓の力を、社会の力へ。

KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団

年次報告・計画書 2019-2020

# ご挨拶

公益財団法人 鼓童文化財団  
理事長 五十嵐 実



いつも鼓童文化財団にご支援を賜り、大変ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症により、健康を害されている方、あるいは不自由な暮らしをされておられる方に、心からお見舞いを申し上げます。

今世界は新型コロナウイルス感染症の流行により、未曾有の大きな危機を迎えています。人々は繋がりを必要とする社会的存在です。人類は様々な交流、コミュニケーションによって、この21世紀、大きな発展と進歩をして参りました。それが、コロナにより世界の分断、社会の分断、コミュニケーション分断の危機に陥っています。

私達、鼓童グループもワン・アース・ツアーや公演活動、ワークショップ、交流事業の活動自粛、研修生の育成事業など困難な状況にあり、大きな危機を迎えています。この危機を乗り越えるために、グループ、メンバー、職員一丸となって対応に当たっています。

何より私達の理念は「太鼓の力を社会の力に」、「太鼓の力で世界をより良くしたい」であります。

私達は必ず、芸能の力で世界を繋ぎ、分断をなくし、世界の平和と繁栄を取り戻す力になれると言じております。

危機はこれからも続きますが、何卒、更なる鼓童グループへのご支援を賜ります様にお願いする次第です。

全ての人類の力を結集し、何としてもこの危機を共に乗り越えて行きたいと思います。

皆様におかれましても、不自由なことは思いますが、感染防止に留意され、再び笑顔でお会いできる事を祈念しております。

## 五十嵐 実（いからしみのる）プロフィール

税理士、日本自然環境専門学校 学校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事、（一社）五頭自然学校 理事長、新潟NPO協会 理事。  
人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していくとの思いから、「組織開発」「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。

## 活動トピックス 2019

### ① 鼓童メンバー、スタッフ向け「エクサドン勉強会」開催

1月 31日～2月 2日

共同開発者の森本芳典氏にもたたこう館へお越しいただき、鼓童のメンバー、およびスタッフを対象に講演を行った。また、メンバーには、実際、佐渡の高齢者を対象としたエクサドンを行う場に参加してもらった。



今後も、ワークショップに関心がある鼓童のメンバーをファシリテーターとして養成するにあたり、ワークショップを勉強、実践できる場の提供をしていく。

ワークショップでファシリテーション、舞台でパフォーマンス、どちらも行うことができるメンバーを育てていきたいと考える。

舞台表現とは違う、双方向にお客様と直接つながる魅力を伝えた。

### ② 「エクサドン体験」(四国・関西方面) 開催

2月 9日～13日

愛媛県（鬼北町）～山口県（周防大島）～大阪府（岸和田市）

鬼北町、周防大島、どちらも老若男女幅広い年齢層の方々がご参加くださり、みんなで一緒に太鼓を叩いた。終始笑顔の絶えないエクサドン体験となつた。

岸和田市では、PDリハビリティサービスかなえるLIFE（パーキンソン病特化型デイサービス）にて利用者様および、職員の皆様を対象としたエクサドン体験を行つた。

### ③ 第5回 世界パーキンソン病学会参加

2019年 6月 4日～7日 京都国際会館にて

パーキンソン病に関わる様々な分野の人々が3年に1度、一堂に会する貴重な学会に参加。パーキンソン病に関する最先端の研究結果が発表されるとともに医療スタッフ、研究者、患者さんやそのご家族などが世界中から集う、国際交流と情報共有の場。

パーキンソン病のリハビリに効果的とされるロックステディボクシング（RSB）とのコラボレーションが実現。

### 宮崎正美（サミーちゃん）

熊本県出身。2001年太鼓芸能集団鼓童のメンバーとなり、国内外にて劇場公演、学校交流公演、ワークショップ等を通じ、演奏者、指導者、演出家として活躍してきた。



2014年4月より、佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）で太鼓体験講師の傍ら、様々なミュージシャンとのコラボ演奏を行うなど活躍の場を広げている。持ち前の元気と明るさで、エクサドンファシリテーターとして、日本各地で老若男女を対象とした様々なワークショップを開催中。言語や文化の違いを超えて世界中のファンに愛され、その笑顔で周りのみんなが元気になると定評を得ている。

## 「エクサドン」（報告：宮崎正美）

### ④ エクサドンファシリテーター養成プログラム「基礎コース」開催

9月 14日～16日 佐渡（たたこう館・深浦学舎）にて開催

ファシリテーター養成プログラム（一般の方々向け）を始動。9月15日（日）佐渡の岩首集落の祭りを見学。いかに人々をつなぐ役割を太鼓が担っているかを感じてもらう。祭りに刺激を受けたようで、翌日のワークでは、祭りの掛け声を取り入れる参加者もいた。現在4名の修了生。



### ⑤ 実証研究（継続調査）

10月 12日、16日

2018年の実証研究の協力者を対象として、1年後の経過を調査。久しぶりにお会いする皆様が、お元気そうに太鼓を叩く姿を見て嬉しくなる。参加者同士も久しぶりに会う方々もいたようで、お互い近況を話したり、笑顔で会話を弾んでいた。



### ⑥ 「エクサドン研究会」開催

9月 21日 夕方～23日 佐渡（たたこう館・深浦学舎）にて開催

#### 研究会にて講演された方

- 仙台富沢病院院長 日本認知症情動療法協会理事長 藤井昌彦先生
- 医療法人青木会 杉本秀幸様
- 森ノ宮医療大学作業療法学科 ニューロダンス（forパーキンソン病）開発 橋本弘子先生
- ジャズ体操、熟年ジャズ体操、体力作りのダンス実践 相良陽子様
- 汐彩クリニック院長 森本芳典先生



各地より専門の先生方をお招きして、エクサドン事業を進めるにあたって知識を深めました。

### 今後の展望

エクサドンは認知症予防のため、だけではない。世の中すべての人が対象。太鼓を叩いて一生を元気に過ごし、他者とのつながりを感じることが出来ることを目指している。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、どの分野においてもオンラインが普及するのは、人はやはり一人では生きていないと証ではないだろうか。どこかで誰かとつながって生きていきたい、自分が今ここで生きていることを知ってもらいたい、と思っている。今までよりきっと、今後その思いは募る。大事なことは、健康でも疾患していても、若くても年老いていても、「人は孤独ではない」と感じられること。エクサドンでは太鼓の力と人間の叡智で、人が幸せに生きる（well-beingな状態である）ことをこれからも追求していく。

### ⑦ エクサドンツアー（山形方面、四国方面）

【その1（山形方面）】10月 18日～23日

福島県（いわき市）～山形県（米沢市～最上郡戸沢村）

【その2（四国方面）】11月 8日～16日

愛媛県（新居浜市～大洲市～今治市）～徳島県（阿南市）



地元の太鼓グループ、認知症予防について取り組む方々、鼓童の活動を応援してくださる方々のご協力を得て、また、温かい歓迎とおもてなしを受け、行く先々で大変お世話になった。演奏を聴いてもらうのではなく、参加者と一緒に太鼓を叩く「エクサドン」でツアーグループが組めること、そして皆さんのが大変喜んでくださっていることを実感した。

今後は、日本全国、そして海外でのエクサドンツアーも視野に入れて、改めて太鼓の力を世界の皆さんに届けたいと思った。

### ⑧ 「エクサドン体験」と「エクサドン講座」開催

○ 11月 23日 さいたま市（スタジオすわんど）

「体験」（ファシリテーター：米谷友宏）  
「講座」（ファシリテーター：宮崎正美）

○ 11月 24日 東京（太鼓の里響和館）  
「体験」（ファシリテーター：米谷友宏）

※ 体験：太鼓を使って、参加者みんなで楽しく遊ぶ。  
講座：エクサドンの有用性を知り、ファシリテーター（ワークショップの進行役）について学ぶ。



### ⑨ 医療法人青木会との取組

○ 2019年4月より毎月エクサドンを実施（数か所の施設利用者の皆さん、職員の方々対象）

○ 2020年9月20日 埼玉県の劇場にて、エクサドン参加者、職員の皆様との合同演奏を披露する予定であったが、中止となる。

2019年の春から月に1度、埼玉県の医療法人青木会の施設で太鼓体験講師が通い、施設を利用されている方々に「エクサドン」を行っている。（2020年4月～一時休止中）

私たち講師が行くと、お、きたきた。と身を乗り出す方もいらっしゃるかとおもえば、はて、今日は何事だろう？と訝しげに顔を覗きこむ方。「今日も佐渡から来ましたよ。一緒に太鼓を叩きましょう」というと、恥ずかしそうに「太鼓叩くの初めてだわ。できるかしら」と、毎回おしゃる方も。皆さん太鼓を叩いた後は少し顔が高揚して赤くなり、表情が柔らかくなっている。

施設職員の皆様のご協力があり、太鼓の搬入、参加者へのご案内、会場設営など毎回とてもスムーズ。しかも、職員の皆様はいつも明るく元気！見習うことが多々ある。

## 活動トピックス

「太鼓の力を社会の力に」を合言葉に、エクサドンの事業化に取り組む1年でした。

佐渡島内においては、外国人観光客(インバウンド)の受け皿づくり、地域資源の活用による体験プログラムの開発を、佐渡市や佐渡観光交流機構などと協働で進め、財団のミッションである文化振興と地域活性化に取り組みました。

## 企業向け研修事業の実践と新たなプログラム開発

太鼓ワークショップを通した「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」などを体感として学ぶ企業向け研修プログラム。

2019年は新潟県内の企業や団体で展開を行うと同時に、コーネル大学経営学院職員の唐川靖弘氏(EdgeBridge社代表)とともに「共創型リーダー育成プログラムCo-Creation Leadership Program(CCLP)」を共同開発。

12月23日東京・響和館にてCCLPの体験イベントを行い、在京の企業の代表者や人事担当の方々12人にお集まりいただきました。

実践と意見交換を繰り返しながら、ニーズに応えられる研修プログラム開発を引き続き行なってまいります。



9月28日 にいがたワーク＆ライフケーラム in 新潟  
分科会「太鼓でコミュニケーション力UP」の様子



11月 柿野浦研修所での実地面接の様子

## 研修生募集方法の見直し

例年は年一回、1月に行っている実地面接を、11月と1月の2回行いました。募集方法もウェブサイトのフォームから申し込む方式を取り入れ、応募しやすい環境づくりを試みました。

(2021年度も研修生を募集する予定ですが、詳細は2020年5月現在未定となっております)

## 鼓童の会交流イベント開催

12月の文京シビックホールでの公演期間に、鼓童の会会員限定の交流イベントを開催。

2020年5月初演に向けて稽古を重ねてきた〈NOVA〉公演の音楽監督・住吉佑太と、浅草特別公演「巴—Tomoe—」の演出を務める船橋裕一郎が鼓童の創作活動について語り、後半は若手メンバーも加わって会員の皆様とのトークをお楽しみいただきました。



12月22日 文京シビックセンター26階  
スカイホール  
(東京・文京区)にて

## 決算

貸借対照表 2019年12月31日現在 (単位:円)

I 資産の部	
流動資産	現金および預金 売掛金 未収金 仮払金 その他 流動資産合計
	12,373,206 13,125 2,341,593 421,980 35,655,449 50,805,353
固定資産	基本財産 特定資産 その他固定資産 固定資産合計
	94,703,334 84,776,361 17,947,448 197,427,143
資産合計	248,232,496
II 負債の部	
流動負債	短期借入金 未払金 未払消費税等 その他 流動負債合計
	35,000,000 4,999,408 582,300 5,188,710 45,770,418
固定負債	長期借入金
	25,834,000
負債合計	71,604,418
III 正味財産の部	
	正味財産合計 負債及び正味財産合計
	176,628,078 248,232,496

正味財産増減計算書 2019年1月1日から2019年12月31日まで (単位:円)

### I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	1. 基本財産運用益 2. 事業収益 3. 受取補助金等 4. 鼓童の会収入 5. 受取寄付金 6. 雑収益 経常収益計
	393,205 76,980,039 5,106,040 6,599,000 13,497,784 3,659,352 106,235,420
(2) 経常費用	1. 事業費 2. 管理費 経常費用計
	79,885,945 33,781,791 113,667,736
一般正味財産増減額	-38,777,321
一般正味財産期首残高	95,259,038
一般正味財産期末残高	56,481,717
II 指定正味財産増減の部	
指定正味財産期首残高	85,040,470
指定正味財産期末残高	120,146,361
III 正味財産期末残高	
正味財産期末残高	176,628,078

## ご支援いただいた皆様

昨年多くの皆様から、様々なご支援をいただきました。ありがとうございます。  
深く感謝申し上げますとともに、掲載のご希望をいただいた方のお名前をご紹介させていただきます。(敬称略)

### ■ ご寄付 (2019年1月1日～12月31日) 総額 13,497,784円

- (1) 一般寄付 (計 12,438,000円)  
10,000口 堀口智穎／500口 島崎信／100口 今井茂雄／30口 石田一子／15口 杉本淨、犬飼信雄／10口 佐々木京子、中谷大介、内野博子、船橋吉雄、舟見正子、山口香世子、武笠行男、村丸一雄、逸見酒造株式会社、中野洸、住吉孝文、佐々木裕、小野みき子／10口未満及び匿名希望の方の合計 1,648,000円
- (2) 研修生育成支援 (計 262,000円)  
10口 廣瀬順子、佐藤貞茂、吉住佳世子、岩崎洋子、渡辺忠雄、金澤洋子、見目恭朗／10口未満及び匿名の方の合計 192,000円
- (3) 永年賛助会 (計 300,000円)
- (4) きしゃぽん(古本募金) (116名以上の皆さまより：計 348,795円)
- (5) やまいもくん募金(たたこう館の原木太鼓の革張替えへのご支援) (計 148,989円)

### ■ インカインド(物によるご支援)

箏、レコードプレーヤー、ミシン、iPad等 (和田明江)

### ■ 会員の皆様 (2019年1月1日～12月31日)

#### 「鼓童の会」

2019年度に会費を受領した方 1,013名 / 会費受領総額 6,599,000円 /  
特別支援会(年会費10万円) 松井秀樹、北島京子、鶴見美奈子ほか5名 /  
支援会(年会費5万円) 古竹孝一、松村美代、大塚哲朗、吉川峰子ほか4名 / 後援会(年会費1万円・入会金1,000円) 251名 /  
友の会(年会費3,000円・入会金1,000円) 745名 / 永年賛助会(賛助会からの移行)1名

※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会(定員350名/賛助会費30万円)の会員情報を管理。

# 2020年度

## 活動トピックス

新型コロナウイルス感染症の影響により、鼓童グループ全体として大きな危機に直面しております。公演やワークショップは中止または延期、アース・セレブレーションは無観客での実施方法を検討中です。このような状況下ではありますが、芸能の火を絶やさない為に努力してまいります。

### たたこう館より動画配信開始！



YouTubeで「たたこう館」または「どんどんぶう」で検索してご覧ください。

大人は、新型コロナ関連のニュースを見てはため息をつき、生活スタイルの変化に戸惑い、いつまでこの状況は続くのかと途方に暮れてしまいます。

しかし、子どもは違います。そんな大人の聞くニュースには興味がありません。日々新しいもの、面白いものを見つけ、明るく楽しい未来を想像し、自分たちの今の暮らしを創造しているのです。

私たち大人ができること。それは子どもと一緒にいっぱい笑って遊ぶこと。暗い顔をしないこと。体を思いきり動かすことはお互いのストレス発散にもなります。子どもと一緒に、是非大人にも見てもらいたいです。

そして、このことをきっかけに、エクサドンや企業研修向けなど、太鼓のワークショップ全般のオンライン化という新しい事業開発に取り組み始めています。

### 新研修生の受け入れ

新研修生は入所を延期し、地元での健康観察を徹底しました。まず、当初の緊急事態宣言の非対象地域から3名を受け入れましたが、柿野浦研修所には直接入所せず、深浦学舎で14日間の健康観察を行いました。3名は5月1日に研修所へ合流、残りの9名についてはオンラインミーティングを行ったり、動画資料を提供するなどして地元での研修準備期間を過ごしています。安全の確保を第一に、今月中の受け入れ開始に向けて慎重に検討を進めています。

今までにない形のスタートとなりましたが、研修所に全員が揃う日が来たら、皆で気持ちを合わせて太鼓の音を響かせていきたいと思います。



深浦学舎にて。  
ラジオ体操も十分な距離をとって。

### 新たなアース・セレブレーションの開催



アース・セレブレーション公式サイト  
<https://earthcelebration.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年のアース・セレブレーション(EC)を無観客・オンライン配信で行うことが決定いたしました。

今年のECは、令和2年度に新たに創設された文化庁「国際的文化フェスティバル展開推進事業」に採択(EC含め全国で2件のみ)され、国からも大きな期待を持たれている佐渡の文化事業です。

国内外で主要な文化イベントの中止が相次ぐ中、新たな形で佐渡から世界に発信する、全く新しいECへのチャレンジ。

ご自宅でネットを通してECそして佐渡を楽しんでもらい、2021年以降の更なる誘客へと繋げたいと考えています。

## 事業計画

### 実施事業

#### ア. 人づくり（研修および体験学習を通じた担い手の育成）

- ① 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース  
・一年次 4月～2021年1月 12名(佐渡での研修開始は5月～)  
・二年次 2月～2021年1月 6名
- ② 「エクサドン」ファシリテーターの養成  
・2月「基礎コース」(佐渡島内1名修了)  
・4月「基礎コース」、9月「科目コース」「エクサドン研究会」**延期**  
・佐渡島内外での「エクサドン体験」「エクサドン講座」の開催 **延期・中止**  
・認定制度の整備

- ③ 大正大学との提携  
・地域創生学部の学生の佐渡研修の支援  
・2019年に創部された太鼓部「鼓鴨(こおう)」への鼓童メンバーによる指導等

- ④ 企業研修  
・プログラムの開発  
・パーソル総合研究所(人材開発・社員研修)との提携

#### イ. 地域おこし（地域資源を利用した地域活性化）

- ① たたこう館(佐渡太鼓体験交流館)の運営  
・出張たたこう館事業 **中止**  
・島内外でのエクサドン事業 **中止・延期** • 新潟県内小学校の修学旅行生の太鼓体験 **延期**  
• 提携事業の拡充(サンフロンティア佐渡等) • 臨時飲食店の営業

- ② 「鼓童 佐渡宿根木公演」  
・開催期間:5月2日(土)～6日(水・振休) **中止**

- ③ 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援  
・一般社団法人佐渡観光交流機構  
・一般財団法人佐渡文化財団  
・地域ESD活動推進拠点  
・深浦小学校校舎活用委員会  
• 小木湊まちなみの輪  
• トキめき佐渡・いがた観光圏  
• 佐渡國しま海道  
• 佐渡祭ワールドツアーエグゼクティブ委員会 (ヨーロッパ: **中止**、ドバイ: **延期**)

- ④ 外国人誘客のための現地プロモーション業務  
・佐渡市より「ビジット佐渡アンバサダー(ビジット佐渡観光大使)」任命  
・鼓童ヨーロッパツアーの会場ロビーにおいて、外国人誘客のための佐渡観光PR

- ⑤ アースアニチャード事業  
・「緑の少年団」によるベンチの製作

#### ウ. 芸術文化の振興（伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興）

- ① 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集  
・深浦学舎に佐渡に関する図書資料等の閲覧コーナーを設置

- ③ アウトリーチ活動  
・鼓童塾 **中止** • 「芸能の宝島佐渡」公演(9月予定)  
・研修生と島内中学生の交流学校公演(10月頃予定)

- ② 伝統文化・文化活動への支援  
・一般社団法人佐渡文化財団との事業連携  
・佐渡の集落で継承されている芸能の支援  
・鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問の支援

- ④ エクサドンの開発  
・医療法人青木会(埼玉県)委託事業(エクサドンの実践、ファシリテーターの養成、稽古指導への講師派遣等)  
・東京大学先端科学技術研究センター、三菱総合研究所との協働  
・ヘルスツーリズム認証取得((一社)佐渡観光交流機構、JTB総合研究所との協働)

#### エ. 國際交流（国際的な文化交流の場づくりと実践）

- ① 國際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営(公工)  
・開催期間: 2020年8月21日(金)～23日(日) 新型コロナウイルス感染症予防の観点より、無観客・オンライン配信による開催を予定。

- ② 深浦学舎(海外からの団体の受入れ)  
・太鼓をテーマとしたアメリカの高校生を対象とした国際交流プログラム「Taiko for Peace」の受入れ **中止**  
・フランスより「太陽劇団」の団員(約40名)が新作づくりのため長期滞在 **延期**

- ③ 外国クルーズ船の受入 Caledonian Sky、Bremen、Le Soleal、Crystal Endeavor 6隻 **中止**

#### オ. 広報・ファンディング（広報活動・資金調達の強化）

- ① 発行物  
・機関誌『鼓童』を年4回発行(2、5、8、11月)  
・「年次報告書」発行(5月)  
・「鼓童文化財団の人材育成」パンフレット発行(11月)

- ④ 寄付のオンライン決済システムのリニューアル(4月公開)  
⑤ インターネットを活用した資金調達

- ② ウェブサイトの充実  
・鼓童文化財団のサイトの整理及び拡充  
・エクサドン、たたこう館サイトの発信・英語対応の強化

- ⑥ クラウドファンディング等の資金調達手法の活用  
⑦ 鼓童の会の運営  
・宿根木公演の期間の鼓童の会会員を対象とする交流企画 **中止**  
・文京シビックホールでの会員交流イベント(12月予定)

- ③ 企業との関係強化により法人寄付の強化

# 鼓童グループへのご支援をお願い申し上げます。

この度の鼓童緊急支援のお願いに際し、多くの方々、地域よりご支援そして応援のお言葉を賜り、心より感謝申し上げます。引き続き先の見えない中、厳しい状況が続いておりますが、この先も皆様に太鼓の響きと音楽を届け続けられるよう、グループ一丸となり頑張ってまいります。引き続き、多くの皆さまからのご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

太鼓芸能集団 鼓童 代表 船橋裕一郎

## ■ 税制上の優遇措置について

鼓童文化財団へいただいたご寄付や鼓童の会の会費は、特定公益増進法人への支援金として、所得税・法人税・相続税・一部の自治体の住民税について、税制上の優遇措置を受けることができます。寄付額の最大40%が税金から控除されます。個人でご寄付をいただいた場合、確定申告を行うことにより税金が還付されます。

## ご支援の方法

### 1. 「寄付」で応援する

1口1,000円より何口でも隨時お受けいたしております。

鼓童ウェブサイトの「ご支援お申込みフォーム」をリニューアルいたしました。クレジットカードもご利用いただけます。

また「毎月の寄付」など定期的なご支援もお選びいただけます。

( <https://kodo.secur.force.com/> またはQRコードよりアクセスをお願いいたします。)

または、郵便振替用紙をご利用の上、ご送金ください。

郵便振替口座[00690-9-25829(財)鼓童文化財団]



#### ○ 緊急支援 鼓童グループ全体を支えるご寄付となります。

私たちは、鼓童の活動をどうしても存続させたいと考えています。

それは、「この世界にとって『太鼓』が必要なものである」と信じているからにはなりません。ぜひ、鼓童の未来を支えてください。

#### ○ 一般寄付 鼓童の舞台が「花」とすれば、「根」を張り支えているのが、鼓童文化財団です。

人材の育成や、太鼓を用いて健康増進を図る「エクサドン」など、太鼓の力を社会の力へつなげる、公益性の高い事業に取り組んでおります。

#### ○ 研修生育成支援 鼓童文化財団研修所の運営に対するご寄付です。

1996年に旧岩首中学校の校舎跡をお借りして開所し、現在在籍するメンバーのほとんどが暮らし、学んできた「柿野浦研修所」。

築60年を越えて老朽化した建物は補修の必要があり、また研修所の運営にも年間約3,000万円の費用がかかります。

ぜひ、夢に向かう研修生の思いを支えていただけませんか。

### 2. 「鼓童の会」に入会する

鼓童の会は、鼓童の活動に共感する皆様と鼓童をつなぎ、その活動を幅広くご支援いただく会です。

ぜひ鼓童の活動に関心をお持ちの方にご入会をお勧めいただければ幸いです。

また、ご継続は上記「ご支援お申込みフォーム」よりお手続きいただけます。



### 3. 「鼓童グッズ」を買って応援する

鼓童の商品をお買い求めいただくことも、大きなご支援となります。「鼓童オンラインストア」からお買い求めください。 <http://store.kodo.or.jp/>

### 4. 「物品の提供」によるご支援

現在、鼓童ではインターネットを通じた動画配信等に積極的に取り組んでおりますが、十分な機材が整わない中、メンバーやスタッフが工夫しながら撮影を行っています。撮影・録音機材のご提供などの形でご支援いただける方などおられましたら、ぜひ鼓童までご連絡いただければ幸いです。また、読み終えた本やCD、DVDなどをお持ちの方は、ぜひ「古本募金きしゃばん」へ。研修生が稽古に使う「バチ材」購入の支援につながります。

<http://kishapon.com/kodo/>

(これら「物品のご提供」によるご支援には、税制上の優遇措置はございません。)

## 「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校長
専務理事	菅野敦司	
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事	佐藤敦子	高崎経済大学 准教授
理事	船橋裕一郎	太鼓芸能集団「鼓童」代表
監事	河内秀夫	税理士
監事	佐藤一行	(株)北前船 社外取締役 / (有)音大工 監査役
評議員	青木孝夫	(株)北前船 代表取締役社長
評議員	浅野昭利	(財)浅野太鼓文化研究所 理事長
評議員	関原剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役社長
特別顧問	島崎信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

## 鼓童グループの活動理念

私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をめざします。

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれて運営いたしております。

### ● 太鼓芸能集団「鼓童」

太鼓を中心とした音楽芸能の創造、実演、教育などの活動を行います。

### ● 株式会社 北前船

太鼓芸能集団「鼓童」のマネジメント、公演等の企画、興行、鼓童商品の開発販売を行います。

### ● 有限会社 音大工

太鼓芸能集団「鼓童」および鼓童グループの著作権管理、映像音源メディアの企画制作を行います。

### ● 公益財団法人 鼓童文化財団

太鼓芸能集団「鼓童」が培った経験と佐渡の資源を活かし、広く社会に貢献できる活動を行います。